



市庁舎1階ワンストップロビーの多言語対応案内パネル



中心市街地・東
京オリンピック



渡辺 厳太郎(自由民主党) 朱色に塗り替えて、まちづくりの面的広がりを狙っては。建設部長 地元の要望があるのか。法の特例をも活用し、りましたら、塗り替えについて検討したいと考えています。建設部長 町の憩いときに、わい空間を創造できるよう、法律等を確認しながら関係機関と協議を行い、他の自治体の先行事例も参考にしながら道路占用許可の特例制度の活用について検討を進めたい。岡 原町田一丁目参宮橋を



防犯対策／デジ
タルサイネージ



木目田 英男(自由民主党) 防犯カメラの設置について、今後の市の方針は。防犯安全担当部長 通学路の防犯カメラ設置事業が終了した後、既設設備の更新を含めて、中心市街地以外の地域への新設に関して、優先順位をつけた上で検討していきたいと考えています。岡 デジタルサイネージ(電子看板)を市の広報に活用してはどうか。広報担当部長 現状として、市庁舎1階に庁舎案内パネルを設置し庁舎案内情報を発信しているほか、市庁舎や各市民センター計8カ所にまちビジョンを設置して行政情報を発信しています。また、新たな取り組みとして、市内で子育てをするイメージが湧く情報ツールとして町田子育てランドブックの作成、配布を予定し、PRに電車内の動画を流すことも検討しています。



赤ちゃん
と妊産婦
在宅



松岡 みゆき(自由民主党) 妊娠から子育て迄の切れ目のない支援「出産子育てしつかりサポート事業」内容は。保健所長 対象は市内在住の妊婦さんで、妊娠週数は問いませんが、早期のサポートを開始を図るため、産婦人科、医療機関や妊娠届出時に渡すチラシでご案内をしています。岡 緊急下の母子を救う為に、妊娠SOSホットラインカードを全庁的に設置しては。保健所長 市の基準により市庁舎での設置は困難です。妊娠したことのみも含めて相談先があることは市のホームページで周知していきます。岡 医療費負担が増加の一方向、終末期の「在宅」といって、希望が増加している。在宅医療に市民の理解が必要だが、いきいき生活部長 9月10日に「みんなで知ろう町田の医療と介護」をテーマとした初のイベントを開催します。



豪雨対策の
推進
／商店
への支援



池田 友一(日本共産党) 事前周知や情報伝達など豪雨時の課題解決のための取り組みを求めている。防犯安全担当部長 速やかに重要な市民への情報提供が重要ですので、正確な情報提供を充実していきたい。岡 商店が抱える問題を前に、向きに打開するために店舗改修助成を求めている。経済観光部長 商工会議所、商店会連合会事務局と協働し、顔と顔の見える関係をつくることは非常に大切だと思っております。こういった施策、補助メニューがいろいろあると思います。岡 ブラック企業やブラックバイトに対する町田市の対策を問う。学校教育部長 学校教育の中で、労働や勤労の一般的な学習を通して、雇用の問題のあり方について考えさせる学習を行っています。



市政運営の
基本的な
考え方



河辺 康太郎(まちだ市民クラブ) 社内創業というのでしょうか、そういったことが一つの要素かなと思います。もう一つ、これは今もすっかりやっています。オフサイトミーティングというのをやっています。これは組織の中で垣根を越えていろいろな議論をしていただいています。それぞの組織でやっていたら、5カ年計画のアイデアが出てくることを期待しております。



若者
に対する
支援



白川 哲也(保守連合) 市による若者への就業支援や起業支援策を実施すべきだと考える。地域福祉部長 若者に対する支援に限定した制度は特にございません。生活・就労相談窓口を通じて若者の就労を支援していきたい。岡 以前より、地域若者サポートステーションの設置を求めてきたが、現状はどうか。地域福祉部長 厚生労働省と連携、協働し、子どもたちの居場所、会議室となる場所をテーマにした空間、憩いのスペースなどが複合し、新たなコミュニティを生み出すような象徴的な施設を目指していると考えています。岡 乳がん検診、都内で最も高い自己負担額の減額を求め。保健所長 視触診の廃止に伴って前向きに検討ができるのではないかと考えています。



ゴミ屋敷の
正体
は地域の
孤立



石井 くにのり(まちだ市民クラブ) 高齢者の転入を起点とした孤立対策は、課題発生前の早期の関係作りが有効では。いきいき生活部長 関係構築については有効と考えており、高齢者が転入した際に様々な相談窓口や社会参加のための情報が記載された「高齢者のための暮らしのてびき」を配布しています。岡 現場からは必ずしも十分ではないとも聞いているが、いきいき生活部長 高齢者支援センターや安心相談室の連絡会を通じて現場の意見を聞きながら対応していきたい。岡 市民が相談すると各機関の調整ができるゴミ屋敷対策窓口が必要では。高橋副市長 いろいろなところと連携してやっていく組織的なものが必要ではないかというご意見も聞かれています。今後しっかりと検討していかなければいけないと考えています。



町田市
教育セン
ター



いわけ 和子(自由民主党) ケーシヨウ教室の巡回指導ですが、各学校の児童数に合わせて巡回体制を見直し、児童1人1人が抱える課題を効果的に改善できるように取り組んでいきます。岡 今夏の選挙で選挙権年齢が18歳に引き下げられて実施されたことへの市の評価は。選挙管理委員長 啓発活動は一定の成果を上げられ、多くの若者の投票行動につながったと考えています。



小山田調整
区域
の移動
支援



山下 つや(公明党) 小山田の調整区域等、公共交通が入れないような地域における高齢者の移動支援策が必要と考える。都市づくり部長 いろいろな制度を活用しながら、移動に困難のある方の支援策は必要と認識しています。課題は非常に大きいと思いますが、交通空白地区の解消に向けてさまざまな事例について研究していきたいと考えています。保健所長 節薬バッグ運動を本市でも取り組んではどうか。保健所長 節薬バッグ運動の取り組みは他自治体での実施状況等を調査いたします。



住みやすい
南町
田を
目指して！



あさみ 美子(公明党) 南町田駅北口広場地下道の案内板や、自転車の乗り入れできないエレベーターの改善策を求めている。建設部長 ご意見については、その都度、設置者である国土交通省川崎国道事務所にお伝えしています。岡 南町田駅南口開発に伴い要望した公共施設の内容と検討状況を問う。都市づくり部長 東急電鉄



教育課題の解決に向け、さまざまな事業を行っています。【町田市教育センター】